

四日市市立水沢小学校

学校だより



令和5年11月20日 第39号



## 水沢小学校 小規模特認校制度説明会を行いました。

11月14日(火)夜、本校の保護者を対象に「水沢小学校小規模特認校制度説明会」を行いました。PTA会長、さらに推進委員会委員長(水沢地区連合自治会長)の方々にも参加いただきました。教育総務課から、課長を含め、3名の職員の方々に来ていただき、小規模特認校制度の概要について説明していただきました。

**本校の現状から、令和9年度以降、複式学級(2学年が1つになって1学級を形成する。担任は1名で2学年を受け持つ)となる可能性があります。**令和12年度以降は、各学年の児童数が10名前後となり、全校児童数が50名程度となる見込みです。これらのことをふまえ、**本校の教育環境充実をはかるため、四日市市教育委員会では、令和7年度より、本校に小規模特認校制度を導入する方向で準備が進められています(裏面に15日(水)の中日新聞北勢版の記事の写しを掲載)。**

**四日市市学校規模等適正化計画の基本的な考え方として、「小学校は、行政区との整合性の要請が高いため、小規模校であっても、1つの行政区には最低1つの小学校を存続させることが望ましい」という方針があります。**本校は令和7年度に開校150周年を迎え、歴史と伝統のある、地域から愛される学校でもあります。この制度導入をきっかけに、さらに地域とともにある学校づくりを基盤とした教育活動の充実、強みを生かした特色ある学校づくりに努めていきたいと考えています。

今後は、本年度3月末までに実施要綱の策定が行われ、令和6年度は、制度の周知期間を経て、本校への転学を希望する児童の学校見学や体験、校長との面談、申請書類の提出、という流れで受け入れが進んでいきます。現在の4年生以下の子どもたちが受け入れの対象となり、四日市市内全域から本校の教育活動の特色に共感されたご家庭の子どもたちを受け入れていくことになります。



## 三泗小学校音楽会がありました。(4,5年生出演)

11月16日(木)午前中、三泗小学校音楽会に本校の4,5年生が出演しました。コロナ禍が明け、今年度は全体合唱も再開されました。四日市市文化会館大ホールの幕が上がリ、本校の子どもたちは1番目の出演のため、舞台上上がったまま、ホール全体が明るい中で全体合唱が始まりました。客席も明るく、はっきり見えるので、余計に緊張したことと思います。

全体合唱後は、「大切なもの」という合唱を大きな声でしっかりと歌い上げることができました。特に4年生は、今回が初めての大会ホール舞台での合唱発表でしたが、しっかりと声が出てきれいな合唱でした。学校紹介をしてくれた5年生の2人も、紙を見ることなくすらすらと、自分たちの学校生活の様子やなかまのこと、ふるさと水沢地区の自然やお世話になっている皆様のことについて感じていることを語るができ、堂々とした態度で話すことができ立派でした。他校には、6年生だけで本校の全校児童の人数ほどがいる学校もありましたが、4,5年生の40数名でよく歌い上げ、がんばったと思います。

学校で練習を積み重ねてきた合唱曲以外に、全体合唱の曲も大会ホールの舞台上で歌うことができ、客席から見て、「水沢小の子はちょっと得したなっ」という印象を持ちました。他校の子どもたちが一所懸命がんばって合唱している姿にもふれることができ、本校の子どもたちには、いい経験になったことと思います。

保護者の皆様の中には、会場まで来ていただき、子どもたちの合唱の様子を見ていただいた方もおみえだと思います。会場に入るために寒い中、列に並んでいただき、本当にありがとうございました。



## 就学時健康診断を行いました。

11月16日(木)午後、水沢地区にお住まいの新1年生を対象とした「就学時健康診断」を行いました。学校医、歯科医から、内科健診、歯科健診をしていただきました。聴力、視力についても学校の教員が測定をしました。

**来年度(令和6年度)は、現在16名が本校に入学の予定です。**この機会を利用し、これまでの本校の子どもたちの授業での様子、行事での様子、地域の皆様にお世話になっている様子等を写真や動画を使って紹介しました。

11月15日(水)中日新聞で、令和7年度から本校が小規模特認校制度を取り入れることについて報道があったこともあり、この場でも、受け入れのいきさつと制度の概要を説明させていただきました。(文責 北住 昌文)